

市内乗合路線バスの状況

国際興業バス、西武バス、イーグルバスが飯能駅を起終点に運行しています。国際興業バスは、名栗・原市場、南高麗、双柳・新光、西武飯能日高団地、こまニュータウン、埼玉医大方面、西武バスは、美杉台団地、青梅市方面（飯能営業所管轄）、狭山市駅方面（狭山営業所管轄）、イーグルバスは日高市方面を運行しています。路線バス利用者の大部分は通勤通学者で、特に国際興業バスの双柳・新光方面やイーグルバスの利用者は市外の方による通勤通学利用が多くなっています。また、イーグルバスは、休日の宮沢湖温泉の利用者、国際興業バスの名栗方面は休日の登山・ハイキング客の利用が多いという状況です（名栗方面のバスは、休日ダイヤの方が平日よりも運行本数が多いのも特徴です。）。

路線バスは、沿線住民にとって必要な交通手段ですが、沿線住民の利用は大変少なく、市外の人に頼っているのが本市のバス利用者の傾向です。少子高齢社会に突入していますが、少子高齢化は、直接、バス利用者数に影響があります。利用者が少なくなると路線は維持できなくなり、減便、廃線につながります。現在は、行政の財政支援により維持されている路線もありますが、利用者が少ないのであれば、業務の効率化から廃止という可能性もあり得ます（行政からの支援が欲しくて運行を継続しているのではなく、地域が必要だということから運行を継続している状況です。）。

そして、廃止を選択した場合、路線を引き継ぐ事業者がいれば、バスの運行は継続されますが、事業者がいなければ、そのまま廃止となってしまいます。現在、イーグルバスが運行している日高・飯能路線は、以前は西武バスが運行していた路線を引き継いで運行していますが、もしイーグルバスが廃止となってしまうと、この路線を引き継ぐ事業者を探すのは大変厳しいと考えます（観光バスや貸切バスだけの運行許可の事業者では、乗合の路線バスを運行することはできません。）。イーグルバスは沿線地域にとって唯一の公共交通です。沿線の方々を中心に積極的に利用し、地域の交通を守り、育ててください。

“なぐりひな飾り展”のお知らせ

今年も“なぐりひな飾り展”が2月17日（火）～3月8日（日）まで開催されています。昨年、一昨年と好評であった「名栗地区周遊券」は、今年度は販売しませんが、“なぐりひな飾り展”には、古民家柏木分家、古民家ひらぬまをはじめとして、喫茶&ギャラリー名栗の杜、山雀亭（四海橋バス停）、café&gallery ハミングの吊るし雛など見どころがたくさんあります。

路線バスの旅をしながらお雛様に出会い、旅の最後に「さわらびの湯」で身体を温め、ビールの1杯でもいかがでしょうか。



※公共交通ニュースは地区行政センター
及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当